

東京大学地震研究所 研究体験プログラム（2026年春） テーマ一覧

10 テーマ

順位	担当教員氏名	日程	研究テーマ	研究内容	定員	研究室情報 URL	備考
1	森田雅明	2-4月中の3日間、希望者と協議の上決定	火山ガスから噴火を探る	火山ガスの成分や量を調べることで、火山ガスのできた温度圧力環境や火山ガスのもととなったマグマの量を知ることができます。火山の現場で観測した分析機器のデータや人工衛星のデータを駆使して、火山噴火に迫りましょう。	2名	https://sites.google.com/gecc.u-tokyo.ac.jp/moritama/	
2	加納靖之	3日間程度、希望者との協議の上決定	地震の歴史をまなぶ	歴史時代に発生した地震や火山噴火は、主として歴史資料を解読することで発生日時や場所、現象の規模や推移が明らかにされてきました。地震や火山噴火について書かれた歴史資料の解読を体験していただき、文理融合研究のおもしろさに触れていただきたいと思います。	5名	https://www.eri.u-tokyo.ac.jp/people/ykano/	
3	平賀岳彦	希望者との協議の上決定	地殻・マントルレオロジーの実験的研究	天然岩石を模擬した人工鉱物多結晶体を用いて、高温変形実験および微細構造観察を行い、レオロジーを支配するミクロな素過程を明らかにする。	3名	https://www.eri.u-tokyo.ac.jp/hiragalab/index.html	
4	竹内 希	3-4月中の3日間、希望者との協議の上決定	沈み込み帯の内部構造推定	沈み込み帯は地震が多発する領域であることが良く知られている。本課題では、海底ケーブル地震波形データを適切に処理することにより、沈み込む海洋プレートの内部構造モデルを詳細に推定する。得られたモデルと震源分布を比較することにより、地震発生のメカニズムを推察する。	5名	https://www.eri.u-tokyo.ac.jp/people/takeuchi/	
5	新谷 昌人 高森 昭光	3月中の3日間程度、希望者と協議の上決定	最先端計測技術で地球の内部を探る	地震や火山噴火などを引き起こす地下の様子を直接見ることはできません。地上や宇宙から様々な機器を用いて観測し、現象を推定します。レーザー干渉法を用いた高精度の計測機器を用いて、実験室でひずみや地震を測る実験を行ない、実際の観測データも見ながら地中で何が起こっているか探究してみましょう。	5名程度	https://www.eri.u-tokyo.ac.jp/araya	
6	石山達也	3-4月中の2-3日間、希望者と協議の上決定	沈み込み帯の変動地形学	地形学は、地表構成物質の構造、分布、年代等から大小様々なスケールの地形の成り立ちや形成メカニズムを解明する学問です。野外の実例に触れつつ、変動地形から過去の大地震や地殻変動と一緒に解説してみましょう。講義・室内実習（簡単な地形解析）と野外巡査（房総半島の予定）を実施します。	3名程度	https://www.u-tokyo.ac.jp/focus/ja/people/people000813.html	
7	馬場聖至	2月24日～3月6日の中の3日間、希望者との協議の上決定	地磁気の時間変動から地球内部構造を探る	地震や火山活動を引き起こすプレートテクトニクスを理解する第一歩は、地球の内部構造を調べることです。地磁気の時間変動から地球内部構造を調べる方法について、実際に観測されたデータをコンピュータで解析しながら学びましょう。	3名	https://www.eri.u-tokyo.ac.jp/people/kbaba/	
8	長尾 大道 伊藤 伸一	2月下旬から3月末までの間の3日間、希望者との協議の上決定	人工知能を活用した地震研究	国内外における人工知能をはじめとする最先端の情報科学技術を活用した地震研究についての講義を受講した後、サンプルプログラムを使った深層学習モデルを用いた地震連続波形データからの地震検出やデータ同化計算などを体験します。プログラムや地震データの中身まで深く理解できるようになります。	5名程度	https://www.eri.u-tokyo.ac.jp/people/nagaoh/ https://www.eri.u-tokyo.ac.jp/project/SYNTHA-Seis/	
9	鈴木雄治郎	3月中または4月上旬の3日間、希望者との協議の上決定	火山現象の数値シミュレーション	火山噴煙に関する数値シミュレーションをコンピュータ上で実行し、人工衛星データを画像化し比較することを体験する。	2名	https://www.eri.u-tokyo.ac.jp/people/yujiro/	
10	綿田辰吾 三反畑修	3月中の2日間、希望者との協議の上決定	水槽実験・観測・数値計算を通して津波の基礎を学ぶ	数メートル規模の実験水槽を用いて、地震や火山現象による津波発生を再現し、水槽の底に置いた圧力計を用いて津波の高さを計測します。また、計測した津波波形の再現を数値計算で試みます。	2名	https://sites.google.com/gecc.u-tokyo.ac.jp/watada-lab https://osm3dan.github.io/jp_site/	